

京都市立図書館 サービス計画(平成28年度～平成32年度(令和2年度))

京都市立図書館 基本方針

図書館は、人々が知的で創造的な人生をおくるため、人類の知的遺産である出版物を中心とした文化資源を適切に収集・保存し、活用・発信する場です。
京都市立図書館は、この理念を踏まえ、変化の激しい社会において、新たな課題に直面する府民の知的活動の拠点となるとともに、府内全域に均質な図書館サービスを提供することにより、府民に期待される存在となることを目指します。

I 府内全域の図書館をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します

各公立図書館・学校図書館等の活動を支援しつつ、各館と協力することによって、府内の図書館サービスを充実させます。また、府民に的確に情報を提供するため、各公立図書館・学校図書館等と大学図書館等をつなぎ、府内の各種図書館のハブとしての機能を果たします。

- 1 府内の各図書館とのネットワークの強化
- 2 市町村立図書館等への支援
- 3 学校支援の充実
- 4 子ども読書活動の支援

II 多様な文化資源の情報を取り扱い、歴史と立地を活かしながら、幅広い調査研究のニーズに応えます

府立図書館の役割に応じた選書を行いつつ、多様な文化資源に関する情報を取り扱います。また、様々な情報を求める人々が利用しやすい図書館サービスを提供し、高度な知的要求に応えます。さらに100年を超える府立図書館の歴史と文化施設が集中する岡崎という立地を最大限に活かします。

- 5 多様な資料の収集・整理・提供
- 6 十分な収蔵空間の確保による資料の適格な保存
- 7 資料館・博物館・大学等と連携した文化資源の情報発信
- 8 電子図書館サービス・デジタルアーカイブなどへの展開
- 9 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実
- 10 来館者への貸出サービス等の充実
- 11 非来館サービスの充実
- 12 障害者サービス等の拡充
- 13 「歴史ある府立図書館」の演出
- 14 入りやすく利用しやすい空間の構成
- 15 職員の育成

III 議論し発信する場を提供し、課題を解決する拠点となることにより、文化の創造と地域の活性化に寄与します

多様な議論を展開しながら新たな情報を創造していく場を設定し、提供することにより、各機関・団体と連携し、様々な課題の解決につながる調査研究を支援します。あわせて、その成果を発信する拠点となり、こうした活動が各地で展開されるよう働きかけます。これらを通じて、京都の文化の創造と府内各地域の活性化に寄与します。

- 16 「知的な交流の場」の創設
- 17 府立図書館の見える化の推進
- 18 各種講座の実施と情報発信
- 19 行政支援サービスの推進による府民への貢献
- 20 サービスデザインチームによる新たな取組への挑戦

京都市立図書館 サービス計画(令和3年度～令和7年度)〈案〉

京都市立図書館 基本方針

図書館は、人々が知的で創造的な人生をおくるため、人類の文化遺産となる出版物等を適切に収集・保存し、様々なサービスにより提供する場です。
京都市立図書館は、この理念を踏まえ、府内全域に均質な図書館サービスを提供すること、多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズや府民の知的好奇心に応えること、歴史と大学のまち京都の立地を活かしながら、文化の振興と地域の活性化に寄与することを目指します。

I 府内全域の図書館をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します

各公立図書館・学校図書館等の活動を支援するとともに、各館と協力して、府内の図書館サービスの充実を図ります。また、府民に的確な情報を提供するため、公立図書館・学校図書館・大学図書館等をつなぎ、ハブとしての機能を果たします。

- 1 府内の各図書館とのネットワークの充実
- 2 市町村立図書館等への支援
- 3 学校支援の充実
- 4 子ども読書活動の支援

II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます

府立図書館の役割に応じた資料の収集を行うとともに、多様な文化資源に関する情報を取り扱います。また、様々な情報を求める人々が利用しやすい図書館サービスを提供し、幅広い調査研究のニーズや府民の知的好奇心に応えていきます。

- 5 多様な資料の収集・整理・提供
- 6 十分な収蔵空間の確保による資料の適正な保存
- 7 各種電子サービス等デジタル環境の整備
- 8 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実
- 9 利用者サービスの充実
- 10 障害者サービス等の充実
- 11 図書館の空間の効果的な活用
- 12 職員の育成

III 歴史と大学のまち京都の立地を活かしながら、大学等研究機関や文化施設等と連携することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します

100年を超える府立図書館の歴史、文化施設が集中する岡崎という立地、大学のまち京都の特性を最大限に活かし、様々な機関と連携して事業展開を図ることにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します。

- 13 「知的な交流の場」の活用
- 14 府立図書館の見える化の推進
- 15 各種セミナー等の実施
- 16 大学等研究機関、文化施設、行政機関等、様々な機関と連携した取組の推進